

2. プラ板にオレンジシートの光沢のない面を上にしてのせます。

3. 必ず水を少し流しながら(激しく流さないように)ハケで2、3回やさしくなでるようにして洗い出します。
図柄部分のオレンジシートが抜け、透明になります。



ポイント

- ① 図柄のまわりに少しギザギザが生じることがあります。
- ② 4回以上こすると、絵柄が崩れてしまいます。
- ③ 水圧が強すぎたり、ハケで4回以上こすると絵柄がくずれ、透明のフィルムになってしまうことがあります。
- ④ くずれてしまった場合は、再度作り直してください。

4. ティッシュ等で水分を軽くふきとります。

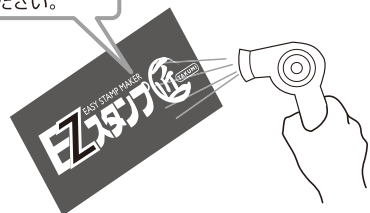
- ・プラ板からオレンジシートを外し、(傷つけないように注意!!)ティッシュ等で水分をふきとります。

ポイント

- ・オレンジシートを指や爪でこすると絵柄がくずれます。強くこすらないでください。
- ・この段階では、塗膜軟化しているので取扱いには十分注意してください。

5. ヘヤードライヤでオレンジシートを乾かします。

完全に乾かしてください。



注意

- 取扱い後は石鹸で手洗いを十分行ってください。

これでオレンジシートは完成です。

この後の作業はEZスタンプ匠本体の取扱説明書をご覧ください。
デザインシートの代わりに、オレンジシートを使用して焼き付けを行いましょ。

Horizon

ホリゾン・インターナショナル株式会社

H&F 事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL. 0422-48-5119(代) FAX. 0422-48-5009

www.horizon.co.jp

200420/EZスタンプ匠専用手描きセット/01J/HN /DV



UM107138-01(000)

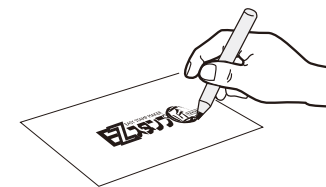
Horizon

EZスタンプ匠 (TAKUMI) EASY STAMP MAKER

専用手描きセット 取扱説明書

原稿づくり

1. 専用原稿用紙に黒ペンで原稿を描いてください。



ポイント

- ・文字は10ポイント、線幅は0.8mm以上で原稿をつくってください。
- ・黒くはっきりと輪郭が出た原稿をつくりましょ。鉛筆は不向きです。
- ・筆記用具は顔料系インクでにじみの少ないペンで描くときれいな原稿ができます。
- ・小さい文字は、ゴシック体などでデザインされることをお薦めしましょ。
- ・明朝体などの書体では、細くなる部分ができるためきれいなスタンプになりません。
- ・細かいデザインのスタンプ作りは、スタンプ作り慣れ(コツをつかんでから)作業されることをお薦めしましょ。
- ・文字や絵柄は、最大作成範囲(70mm×90mm)より少し小さい65mm×85mm 以下に収まるように描くと、製作しやすくなります。
- ・文字の一部に細い部分があると、きれいなスタンプができません。細い部分がないように文字の大きさや太さを考慮しましょ。
- ・原稿は光を通さないマジックペンで黒く描いてください。原稿がうすかったり、かすれていると光を通すので、描いた通りの版ができません。

原稿の良い例



文字が10ポイント以上
線・ベタを真っ黒にする
線幅は0.8mm以上

↑
この文字がちょうど10ポイント
です。参考にしてください。

原稿の悪い例



文字が10ポイント未満
ベタが薄い(黒色が薄い)
線幅は0.8mm未満



注記

- ・用紙は専用原稿用紙をお使いください。再生紙、上質コピー紙、厚紙、ケント紙、感熱紙など専用原稿用紙以外の紙は使えません。
- ・専用原稿用紙は、レーザープリンター/コピー機にも使用できます。この用紙に出力してください。

2. できた原稿を明かりに照らして、描いた図柄から光が漏れる場合は黒く塗り重ねてください。

オレンジシートの焼き付け

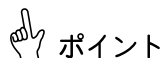
1. 本体の電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。



ポイント

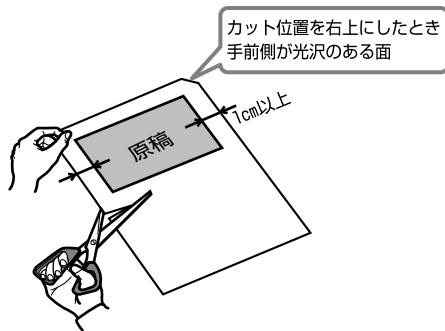
- ・室温が20℃以下のときは、ランプボックスを安定させるために、焼き付け作業の前にスタートボタンを押して2～3分間ランプを灯してください。このとき、ランプボックスのフタは閉じてください。また未使用のオレンジシートには絶対光があたらないようにしてください。

2. オレンジシートを原稿の絵柄より1cm以上大きめに切り取ります。



ポイント

- ・オレンジシートは大変デリケートなシートです。爪などで傷つけないよう取扱いは十分気を付けてください。
- ・日中窓がある部屋ではブラインド・カーテン（厚手）をして作業をしてください。紫外線が当たるとオレンジシートは感光して使えなくなります。



⚠ 注意



水銀灯、ハロゲンランプ、ビームライト、スポットライト、外来光の入る（窓のある部屋）ところで作業はしないでください。

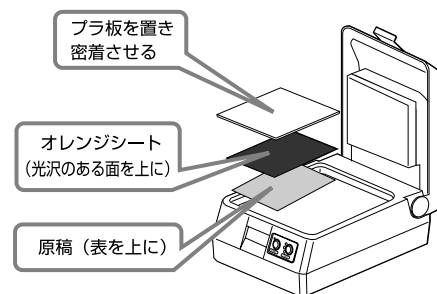
⚠ 注意



使わないオレンジシートはすぐに袋にもどしファスナーをしめて高温多湿にならないところで保管してください。

3. 下から原稿、オレンジシート、プラ板の順にランプボックスにセットします。

- ・原稿は文字、絵柄が正しく読める向きにおきます。
- ・オレンジシートは光沢のある面を上にして原稿の上に置きます。表裏を逆にしておくと焼き付けできません。



4. ランプボックスのフタはパチンと音がするまでしっかりしめます。

⚠ 注意

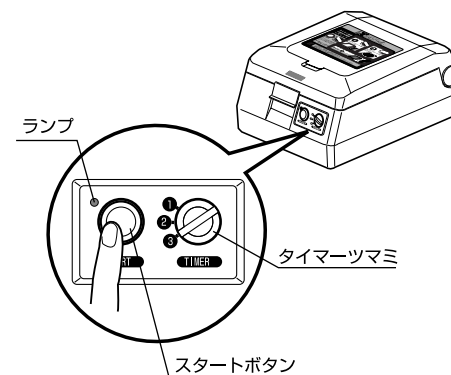


フタをあけたままランプを灯さないでください。ランプから紫外線がでています。目を悪くする可能性があります。

5. タイマーツマミを③にセットします。

6. スタートボタンを押します。

- ➡ ランプが点滅し、焼き付けが始まります。



洗い出し

1. ランプが消えたら、フタを開け、オレンジシートを取りだし、プラシトレーに入れ、その中に1分以上つけます。

